

日本産業衛生学会 近畿地方会ニュース

発行所 日本産業衛生学会近畿地方会
〒602-8048 京都市上京区下立売通
小川東入ル
中西印刷株式会社（日本産業衛生学
会近畿地方会事務局支局）
発行責任者 林 朝茂（地方会長）
<http://jsoh-kinki.jp>

第72回日本産業衛生学会近畿地方会総会・学術講演会の開催案内

近畿地方会長 林 朝茂

日時：2024年6月29日（土） 12：50～16：30
場所：Meeting Space AP 大阪淀屋橋
大阪府大阪市中央区北浜 3-2-25
京阪淀屋橋ビル 4F
開催方法：ハイブリッド開催（現地開催+web開催（Zoom
ウェビナー））

本年度は、日本産業衛生学会近畿地方会総会・学術講演会を現地開催+web開催（Zoomウェビナー）のハイブリッドにて開催します。今年度のテーマは「2024年における産業保健トピックス」です。学術講演会につきましては、①働き方改革の現状と2024年問題、②ポストコロナ時代の職場のメンタルヘルス問題に焦点を当て、それぞれの専門の先生方にご登壇頂くことで、日常の産業保健活動に有益な学術になることを期待し、学術担当幹事の先生方を中心に決めて頂きました。

特別講演1：産業保健の現場で避けて通れない「働き方改革」に関しまして、弁護士法人 大江橋法律事務所 弁護士の大和奈月先生に「働き方改革の現状と2024年問題」と題してご講演を賜ります。2019年4月から関連法案が順次施行されて始まった働き方改革ですが、いよいよ、2024年4月から、建設業、トラック・バス・タクシードライバー、医師の「働き方改革」を進めるため、これらの職種にも時間外労働の上限規制が適用となっております。これに伴う諸問題が「2024年問題」として注目されています。働き方改革全般から2024年問題に関しましても有益なお話を頂けると考えております。

特別講演2：働き方改革、コロナ禍で、リモートワークやAIの急速な進歩など、目まぐるしい社会の変化の中で、今後のメンタルヘルス問題に産業保健の現場でどのように対応すべきかは重要な課題です。こうした問題に関しまして、東京大学 大学院医学系研究科 社会連携講座 デジタルメンタルヘルス講座 特任准教授の今村幸太郎先生に「ポストコロナ時代の職場のメンタルヘルス」と題してご講演を賜ります。有益なお話を頂けると考えております。

今回は、近畿地方会としましては、昨年に引き続きのハイブリッド開催（現地での現地開催開催+Zoomウェ

ビナーによるweb開催）で実施予定です。詳細は、近畿地方会ホームページと地方会メーリングリストにてお知らせいたします。尚、メールが変更、あるいは、登録をされていない場合は、日本産業衛生学会の会員ページにて更新、あるいは、登録を行ってください。

会員の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

〈プログラム〉

12：50～13：30 近畿地方会総会

14：00～16：30 学術講演会

テーマ：「2024年における産業保健トピックス」

司会：上原新一郎（上原産業医事務所）

特別講演1（14：00～15：15）

「働き方改革の現状と2024年問題」

座長：岩根 幹能（日本製鉄株式会社関西製鉄所／一般財団法人NSメディカル・ヘルスケアサービス）
米永 哲朗（米永歯科医院）

演者：大和 奈月 先生（弁護士法人 大江橋法律事務所）

特別講演2（15：15～16：30）

「ポストコロナ時代の職場のメンタルヘルス」

座長：中田ゆかり（京都先端科学大学）

長見まき子（関西福祉科学大学）

演者：今村幸太郎 先生（東京大学 大学院医学系研究科 社会連携講座 デジタルメンタルヘルス講座）

〈参加費〉

日本産業衛生学会近畿地方会員

日本医師会認定産業医単位の希望しない場合：無料

日本医師会認定産業医単位を希望する場合：無料

非会員（日本産業衛生学会近畿地方会員以外）

日本医師会認定産業医単位を希望しない場合：2,000円

日本医師会認定産業医単位を希望する場合：5,000円

〈単位申請〉

日本医師会認定産業医認定単位：生涯・専門 2.5単位申請中（2講演ともに受講いただく事が必要です）

日本産業衛生学会産業保健看護専門家制度認定単位 2単位申請中

第72回近畿地方会学術講演会申し込み要領

【参加費】

日本産業衛生学会近畿地方会員

日本医師会認定産業医単位を希望しない方：無料

日本医師会認定産業医単位を希望する方：無料
非会員（日本産業衛生学会近畿地方会員以外）

日本医師会認定産業医単位を希望しない方：2,000円

日本医師会認定産業医単位を希望する方：5,000円

【定員】

現地参加の定員

●近畿地方会員：200名（近畿地方会員で日本医師会認定産業医単位を希望する方50名を含む）

●近畿地方会非会員で日本医師会認定産業医単位を希望する方は、100名

Web参加の定員：定員はありませんが、Web参加は近畿地方会員のみに なります。

【申し込み方法】

現地参加、Web参加は、ともに日本産業衛生学会近畿地方会ホームページ、地方会メーリングリストでお知らせします。現地参加は、先着順で受付です。Web参加の定員はありませんが、申し込みは必要です。

【受け付け期間】

現地参加：2024年5月15日（水）から開始予定、定員になり次第締め切ります。

Web参加：2024年5月15日（水）から開始予定、定員はありません。

受付期間：2024年5月15日（水）～6月14日（金）

【諾否の連絡】

現地参加受講の可否はEメールでお返事します。

■総会のみにご参加で、学術講演には不参加の場合には申し込みは不要です。

■代議員の皆様へ

総会の前に代議員会を開催いたします。

代議員の方はご出席ください。

時間：12:00～12:40（11:30～受付）

場所：Meeting Space AP 大阪淀屋橋

大阪府大阪市中央区北浜3-2-25 京阪淀屋橋ビル 4F

◎本ニュースに同封の「総会および代議員会出席確認」用のハガキを6月10日（月）必着でご返信ください。昼食の準備はしておりませんので予め済ませてご来場ください。



2023 年度近畿地方会収支報告および 2024 年度予算

1. 収入の部

科 目	2023 年度予算額	2023 年度決算額	2024 年度予算額	決算額の備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収益	0	0	400,000	
協賛金等収益	0	0	0	
参加登録料収益	0	0	400,000	第 71 回学術講演会の参加費無料
受取補助金等	1,800,000	1,861,784	1,950,000	
受取本部助成金	1,800,000	1,861,784	1,950,000	本部からの助成金 1,436 人分
受取地方公共団体助成金				
受取負担金	2,200,000	2,317,000	2,200,000	
受取活動費	2,200,000	2,317,000	2,200,000	地方会活動費 1,159 人分
雑収益	50	1,217,966	50	
受取利息	50	51	50	利息
雑収益		1,217,915		第 63 回近畿産業衛生学会残金返金
経常収益計	4,000,050	5,396,750	4,550,050	

2. 支出の部

科 目	2023 年度予算額	2023 年度決算額	2024 年度予算額	決算額の備考
事業費	3,845,000	4,284,606	4,284,558	
臨時雇賃金	0	0	50,000	学術講演会の臨時雇い人員なし
会場費	300,000	423,186	700,000	学術講演会会場費、Zoom アカウント料、若活会場費など
旅費交通費	10,000	49,380	180,000	学術講演会講師 (2 名)、若活出役の交通費
通信運搬費	20,000	4,972	10,000	学術講演会の通信費 (郵送代など)
印刷製本費	100,000	34,042	100,000	ニュース封筒印刷
懇親会費	0	0	0	
消耗品費	0	11,632	20,000	学術講演会 配布資料印刷のためインクジェットインク+コピー用紙
機関紙発行費	560,000	605,007	600,000	地方会ニュース印刷発送費
研究費	50,000	0	50,000	
諸謝金	100,000	68,800	160,000	学術講演会謝金 (2 名)、労務提供記念品
学会助成金	0	1,137,442	462,558	第 63 回近畿産業衛生学会助成金 (80 万円)、第 64 回近畿産業衛生学会会場費等 (337,442 円)
協議会助成金	0	0	0	
大会研修会助成金	800,000	0	0	仕訳修正のため (近畿産業衛生学会に関しては大会研修会助成金ではなく学会助成金)
部会助成金	600,000	600,000	600,000	150,000 円×4 部会
研究会助成金	50,000	50,000	50,000	50,000 円×1 研究会
委託費	880,000	890,010	890,000	事務支局 88 万円 + 振替受払通知票出力 10,010 円
開発保守費	370,000	407,000	407,000	HP 関連 (32 万円 + 第 63 回近畿産衛サイト 5 万円) + 消費税 37,000 円
雑 費	5,000	3,135	5,000	振込手数料等
管 理 費	368,795	554,068	1,064,197	
給料手当	0	0	0	
理事幹事会費	15,000	78,694	155,000	幹事会会場費、Zoom 契約料
旅費交通費	5,000	19,030	5,000	会計監査交通費、事務局業務引き継ぎ打ち合わせ交通費
減価償却費	42,795	42,795	42,797	パソコンの減価償却費 (本部指示による)
通信運搬費	60,000	66,954	70,000	総会・代議員会用はがき後納手数料、レターパック
役員改選費	30,000	0	500,000	
印刷製本費	80,000	117,205	120,000	活動費振替用紙・封筒印刷費・総会用・代議員会用はがき
消耗品費	1,000	70,000	10,000	インクジェット複合機 38,000 円、文房具 + 近畿地方会固定資産のノート PC 接続用マルチハブ 14,000 円
委託費	132,000	158,400	158,400	会員管理システム保守費用
雑 費	3,000	990	3,000	振込手数料等
経常費用計	4,213,795	4,838,674	5,348,755	
当期一般正味財産増減額	-213,745	558,076	-798,705	
一般正味財産期首残高	7,530,968	7,530,968	8,089,044	
一般正味財産期末残高	7,317,223	8,089,044	7,290,339	

財産目録 ノートパソコン NEC LAVIE Direct N21 (2021 年 3 月 22 日取得)

2023 年度事業報告

1. 第 71 回近畿地方会総会および学術講演会

日時：2023 年 6 月 17 日（土）14：00～16：45

場所：Meeting Space AP 淀屋橋

- (1) 地方会総会 書面開催
 - (2) 学術講演会 ハイブリッド開催：現地 + Web
特別講演（14：00～17：00）
テーマ「職場における喫煙対策：新型タバコも含めて」
 - 1) 特別講演 1：「法律とガイドラインを根拠に推進する職場におけるニコチン依存症対策」
演者：大和 浩（産業医科大学 産業生態科学研究所 健康開発科学研究室）
 - 2) 特別講演 2：「喫煙 / 歯科口腔疾患 / 生活習慣病～職場からのアプローチ」
演者：埴岡 隆（宝塚医療大学 保健医療学部 口腔保健学科）
- 参加者：178 名（内訳：現地 52 名、オンライン聴講数 126 名）

2. 第 63 回近畿産業衛生学会

日時：2023 年 11 月 11 日（土）

場所：兵庫医科大学

学会長：島 正之（兵庫医科大学大学院医学研究科）

テーマ：「ポストコロナ時代の産業保健」

- (1) 一般演題
- (2) 教育講演
「職場のパワーハラスメントを取り巻く現状と産業保健分野における防止対策の進め方」
演者：津野 香奈美（神奈川県立保健福祉大学）
- (3) 基調講演
「産業保健現場のコロナと「次」の課題～メンタルヘルスを含めて」
演者：勝田 吉彰（関西福祉大学社会福祉学部）
- (4) シンポジウム
「ポストコロナ時代の働き方改革とメンタルヘルス」
 - 1) 「COVID-19 パンデミックが働く人々にもたらした影響～ストレスチェックの結果から」
田中 茂美（たなか内科クリニック）
 - 2) 「強迫症診療からみる COVID-19 感染症と産業保健」
向井 馨一郎（兵庫医科大学精神科神経科学）
 - 3) 「ポストコロナの職場づくり～産業看護職の役割～」
本田 美樹（AGC 株式会社関西工場 健康管理センター）
 - 4) 「コロナ禍の自殺のポストベンション活動を通して見えたこと」
佐倉 健史（さんぎょうい株式会社）
 - 5) 「口腔とストレスの関連～コロナを経て見えてきた課題～」
安田 恵理子（大阪歯科大学非常勤講師、日本産業衛生学会産業歯保健部会）

参加者：267 名

3. 地方会役員会の開催

代議員会

第 1 回 2023 年 6 月 17 日（土）書面開催

第 2 回 2023 年 11 月 11 日（土）13：10～13：35 兵庫医科大学

幹事会

第 1 回 2023 年 6 月 17 日（土）12：00～12：50 Meeting Space AP 淀屋橋

第 2 回 2023 年 11 月 8 日（水）20：00～21：25 Web 開催

4. 地方会部会活動

(1) 産業医部会

- 1) 第 28 回産業医部会研修会

日時：2023 年 11 月 18 日（土）

場所：エル・おおさか南ホール

- 基調講演「オンラインを活用した産業保健活動～活用場面と注意点～」

演者：梶木 繁之（株式会社産業保健コンサルティングアルク）

- シンポジウム：オンラインを活用した産業保健活動の実際と今後について

座長：深井 恭佑（株式会社リードウェル）

- (a) 専属産業医の立場から：森 貴大（住友電工株式会社本社産業医）

- (b) 労働衛生機関所属の立場から：黒木 仁美（京都工場保健会）

参加者：131 名

- 2) 役員会：キックオフミーティング：2023 年 6 月 9 日（金）

第 1 回役員会：2023 年 11 月 18 日（土）

第 2 回役員会、監査会：2024 年 2 月 13 日（火）（Zoom）

- 3) 専門医試験に挑戦しよう！

第 1 回専門医試験に挑戦しよう！：2023 年 8 月

第 2 回専門医試験に挑戦しよう！：2023 年 10 月

- (2) 産業保健看護部会

- 1) 定例研修会の開催

日時：2024 年 1 月 27 日（土）13：00～17：00

場所：エル・おおさか 本館 606

講演：大野 裕（国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター顧問）

「セルフケアのための認知行動療法」

懇談会：五十嵐 千代（日本産業衛生学会産業保健看護部会部会長）

「多様化し急速に変化する労働現場に、産業保健看護職はどう対応するのか」

参加人数：90 名

- 2) 産業保健看護専門家制度「登録者認定試験」実施協

日時：2023 年 6 月 18 日

- 3) 幹事会の開催

日時：2023 年 4 月 10 日、4 月 29 日、11 月 2 日、2024 年 1 月 27 日

- 4) メールマガジンの配信

日時：2023 年 9 月、12 月

- 5) 近畿産業保健看護部会活性化の検討委員会開催

日時：2023 年 12 月 6 日

- (3) 産業衛生技術部会

- 1) 2023 年度産業衛生技術部会研修会

日時：2023 年 6 月 10 日（土）13：30～16：30

場所：阪急グランドビル貸会議室 26F 5・6 号室

テーマ「With コロナ時代の産業保健の課題～新型コロナウイルス感染症の後遺症に注目して～」

- ①講演 1：「職場で問題となる新型コロナウイルス感染症後遺症～『コロナ・アフターケア外来』での経験から、その実態と治療の実際の紹介～」

講師：大塚 文（岡山大学学術研究院医歯薬学域・総合内科学）

- ②講演 2：「職場でのプレゼンティーズムや休職につながる慢性疲労・うつ症状～亜鉛欠乏によるうつ症状や慢性疲労との関連に関する最新の科学的知見～」

講師：亀尾 聡美（甲子園大学栄養学部栄養学科）

- ③疲労の簡便な測定：「機器を用いた疲労の簡便な測定の説明と実演」

講師：岩木 直（国立研究開発法人産業技術総合研究所 人間情報インタラクション 研究部門）

参加人数：53 名

- 2) 2023 年 11 月 11 日（土）2023 年度産業衛生技術部会総会 第 63 回日本産業衛生学会近畿地方会会期中に開催（17：20～17：50）

- 3) 幹事会の開催

日時：2023 年 6 月 10 日（土）11：30～12：30

(4) 産業歯科保健部会

1) 総会の開催

日時：2023年5月20日（土）13：30～14：30

場所：大阪国際交流センター・zoom とのハイブリッド

2) 第2回近畿産業歯科保健部会 研修会

日時：2023年9月10日（日）10：00～12：00

場所：大阪府立男女共同参画・青年センター（ドーンセンター）

テーマ：「歯科からの挑戦～これからの産業保健～」

演題：「職場における口からの健康管理と感染予防～刺激が少なく身体に優しい除菌消臭剤MA-Tとは？～」

演者：阪井 丘（大阪大学 大学院歯学研究科 顎口腔機能治療学）

参加者：38名

3) 幹事会の開催

日時：2023年3月23日（木）21：00～22：30

5. 地方会ニュースの発行

近畿地方会ニュースを年2回（128号～129号）発行。

6. ホームページの更新

地方会ホームページを随時更新し、地方会会員に迅速に情報を提供した。

7. 地方会プロジェクト

若手活性化プロジェクト

1) 研修会イベントの開催

第3回ウォーキング&ワールド・カフェ（+バーベキュー！）

日時：2023年9月30日（土）13：00～17：00

場所：エルおおさか5階研修室2

(a) ワールド・カフェ 13：00～16：00

テーマ

①近畿地方会に若手コミュニティを作ろう！

②若手コミュニティを継続させるには？

(b) ウォーキング 16：00～17：00 大川沿い約3.5km、中之島公園で解散

(c) 懇親会 バーベキュー（希望者のみ）17：00～19：00
参加者25名

2) 研修会の開催

2024年1月20日（土）15：00～17：00 Web開催

「発表しよう！まずは、レシピの集め方～アンケート作成とデータ収集のポイント～」

講師：林 朝茂（大阪公立大学大学院医学研究科産業医学）
参加者101名

8. 研究会、研修会等

産業精神衛生研究会

1) 研修会の開催

日時：2023年11月15日（水）18：30～20：30

場所：国民會館 武藤記念ホール 大ホール

テーマ「精神疾患の復職支援について」

①「専属／嘱託の対応の違い～両者の経験から～」

演者：忽那 一平（IK健康コンサルタント事務所）

②「産業看護職による復職支援への関わり～本人・上司・人事・産業医にどう橋を架けるか～」

演者：南 未来（株式会社ドクタートラスト）

③「事例から知る精神科産業医の職場復帰前後の対応」

演者：夏目 誠（読売テレビ・毎日放送）

参加人数：75名

9. 役員選挙の実施

実施なし。

10. 近畿産業衛生学会優秀演題賞・若手奨励賞

近畿産業衛生学会優秀演題賞の選考：角谷 寛（滋賀医科大学精神医学講座、産業歯科保健部会）

近畿産業衛生学会若手奨励賞の選考：西田 典充（ニデック株式会社）

2024年度事業計画

1. 地方会学会の開催

第64回近畿産業衛生学会

日時：2024年8月31日（土）

場所：大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）

学会長：中西 一郎（東レ株式会社滋賀事業場健康管理センター）

I. 一般演題

II. 特別講演

III. シンポジウム

2. 地方会総会の開催

第72回近畿地方会総会および学術講演会

日時：2024年6月29日（土）

場所：Meeting Space AP 淀屋橋 ハイブリッド開催（現地＋WEB）

I. 地方会総会 現地開催

II. 学術講演会 現地＋web開催で計画

III. 地方会役員会（代議員会・理事会・幹事会）の開催

3. 地方会役員会（代議員会・理事会・幹事会）の開催

代議員会

第1回 2024年6月29日（土）Meeting Space AP 淀屋橋

第2回 2024年8月31日（土）大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）

幹事会

第1回 2024年5～6月 web、または、Meeting Space AP 淀屋橋で開催

第2回 2024年8月 web、または、ドーンセンターで開催

第3回 2024年11月 web、または、大阪市内貸会議室で開催

第4回 2025年2月 web、または、大阪市内貸会議室で開催

4. 地方会部会活動

1) 産業医部会

(1) 第29回近畿産業医部会研修会

(2) 日時：2024年11月9日、場所：大阪市内

(3) 幹事会2回以上開催予定（産業医部会研修会時、2月頃、+α）

(4) 「専門医試験に挑戦しよう」4回程度実施予定

2) 産業保健看護部会

(1) 定例研修会開催：2025年1月（詳細未定）

(2) 産業保健看護専門家制度「登録者認定試験」実施協力：2024年6月

(3) 幹事会：3回以上開催予定

(4) メールマガジン配信（随時）

(5) 近畿産業保健看護部会活性化

3) 産業衛生技術部会

(1) 2024年度近畿産業衛生技術部会研修会

(2) 日時：2024年6月15日（土）13：30～16：30、場所：KITENA 新大阪

(3) 幹事会：3回実施予定（技術部会研修会時等）

(4) 2024年度産業衛生技術部会総会
第64回近畿産業衛生学会にて開催予定

4) 産業歯科保健部会

(1) 近畿産業歯科保健部会総会開催（詳細未定）

(2) 第3回近畿産業歯科保健部会研修会開催：8月～9月（詳細未定）

(3) 幹事会：3回開催予定

5. 地方会ニュースの発行

年2回の発行予定

6. ホームページの更新

地方会ホームページを随時更新し、地方会会員に迅速に情報を提供する。

7. 地方会プロジェクト

若手活性化プロジェクト：実施方法など検討し実施予定。

8. 研究会、研修会等

産業衛生学会近畿地方会産業精神衛生研究会（仮称）

1回/年開催予定（11月頃）

9. 役員選挙の準備・実施

2024年度実施

10. その他

近畿産業衛生学会優秀演題賞の選考

近畿産業衛生学会若手奨励賞の選考

産業医部会からのお知らせ

第28回近畿産業医部会研修会
開催報告株式会社リードウェル
深井 恭佑

2023年11月18日(土)、エル・おおさかにて、「オンラインを活用した産業保健活動」をテーマに近畿産業医部会研修会を開催し、139名の方に御参加頂きました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を契機に、各事業場においてリモートワークの導入が一気に加速しました。産業保健活動についてもオンラインを活用する動きが進んでおります。そこで、今回の研修会では、コロナ禍によってもたらされた働き方の変化に対応した産業保健活動のあり方に着目し、オンラインを活用した産業保健活動をテーマとしました。

基調講演として、日本産業衛生学会遠隔産業衛生研究会の代表世話人を務められている梶木繁之先生(株式会社産業保健コンサルティングアルク)に「オンラインを活用した産業保健活動～活用場面と注意点～」というテーマで、御講演を頂きました。

遠隔産業保健についての「法的枠組み」、遠隔産業衛生研究会の調査からわかった「実態」、活動の「実例」、「具体例メリット(長所)・デメリット(課題)」を、わかりやすく御講演頂きました。

その後、「オンラインを活用した産業保健活動の実際と今後について」のテーマで、シンポジウムを開催しました。シンポジストを森貴大先生(専属産業医の立場、住友電気工業株式会社大阪本社)と黒木仁美先生(労働衛生機関所属の立場、一般財団法人京都工場保健会)に務めて頂きました。それぞれの立場から、オンラインを活用した活動について、事例を含めて紹介して頂き、その活動から感じるメリットやデメリット、注意点を説明して頂きました。

総合討論では、梶木先生にコメンテーターとして加わって頂き、オンラインを活用した産業保健活動を産業医が普段から心がけるべきことや注意点等について、議論を深めました。

会場からの質問も多くあり、大変盛り上がった総合討論となりました。



第29回近畿産業医部会研修会のご案内

①日時：2024年11月9日(土)午後

②場所：大阪産業創造館4階イベントホール

③テーマ：産業保健におけるアルコール対策

＜基調講演＞講師 辻本土郎先生(ひがし布施クリニック名誉院長)

＜シンポジウム＞

1. 患者様の体験談
2. 磯部昌憲先生(京都大学精神科神経科病院講師) アルコール対策産業医実務や課題について
3. 辻本土郎先生 実務におけるアドバイス
4. 全体ディスカッション

④日医認定産業医単位(合計2.5単位)申請予定

⑤参加費(予定)

1. 医部会員：参加費0円+認定産業医単位取得0円*
 2. 学会員で非医部会員：参加費1000円+単位取得希望者2000円
 3. 非学会員：参加費2000円+単位取得2000円
- *産業医部会にご加入いただくとお得です。

⑥3月末日段階の計画のため、変更の可能性があります。

詳しくは近畿地方会産業医部会のウェブサイトでご確認ください。

(担当幹事：出雲谷恭子)



第63回近畿産業衛生学会開催のご報告

兵庫医科大学医学部公衆衛生学

第63回近畿産業衛生学会 学会長 島 正之

第63回近畿産業衛生学会は、2023年11月11日(土)に兵庫医科大学西宮キャンパスにおいて、前年の大阪大学での第62回学会に引き続き対面式で開催しました。当日は晴天にも恵まれ、産業衛生に関わる267人の皆様にご参加いただくことができました。

本学会は『ポストコロナ時代の産業保健』をメインテーマとし、基調講演とシンポジウムを行いました。2019年に中国で発生した新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、2020年に入って世界中で感染が拡大し、日本でも4月7日に7都府県に「緊急事態宣言」が発出され、その後全国に拡大されて不要不急の外出自粛や休業が要請されました。企業においても在宅勤務やテレワークが奨励されるなど、私たちの日常生活は大きく変化しました。2023年5月に感染症法による分類が5類となるまでの3年余り、数次にわたる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などにより、在宅勤務の広がりや医療の逼迫による医療従事者への精神的負担など、産業保健を取り巻く状況も大きく変化しました。本学会は感染症分類が5類となって半年が経過したところでの開催となりましたので、この間の産業保健をめぐる問題点を振り返り、今後の課題について議論を深めたいと考えた次第です。

基調講演として、関西福祉大学社会福祉学部教授の勝田吉彰先生に「産業保健現場のコロナと『次』の課題～メンタルヘルスを含めて」と題してご講演いただきました。2002年のSARSに始まって、鳥インフルエンザ、エボラ出血熱、デング熱などの次々と発生する新しい感染症と環境破壊や気候変動との関係をご説明いただいた後、新型コロナ感染症拡大時の感染者差別、リモートワークに伴うストレスなど、産業保健に関わる課題とその対策についてお話しいただきました。

続いて、「ポストコロナ時代の働き方改革とメンタルヘルス」をテーマとしたシンポジウムでは、産業医の立場から田中茂美先生(たなか内科クリニック)、精神科医の立場から向井馨一郎先生(兵庫医科大学)、産業看護職の立場から本田美樹先生(AGC株式会社関西工場)、臨床心理士・公認心理師の立場から佐倉健史先生(さんぎょうい株式会社)、歯科医師の立場から安田恵理子先生(大阪歯科大学)に、職場のストレスチェックの集団分析の結果やコロナ禍での自殺など、それぞれの職場等で問題となったさまざまな課題についてお話しいただき、貴重な議論ができたと考えています。

また、教育講演として、神奈川県立保健福祉大学の津野香奈美先生に「職場のパワーハラスメントを取り巻く現状と産業保健分野における防止対策の進め方」と題してご講演いただきました。企業にパワーハラスメント(パワハラ)防止対策が義務づけられている中で、各企業に

おける取り組みと、パワハラが発生しやすい職場の特徴や未然防止のための取り組みについて実践的なお話をしていただき、大変参考になりました。

午前中の一般演題では、2会場に分かれて産業保健をめぐる課題や現場での実践活動などの16のテーマについて口頭発表をしていただき、座長の進行により活発な議論が行われました。発表された演題の中から、座長および審査委員による厳選な選考の結果、優秀演題賞には「産業分野におけるいびき・無呼吸と睡眠の質」を発表された角谷寛先生(滋賀医科大学精神医学講座)、若手奨励賞には「死亡災害オープンデータのデータクリーニングと利活用への試みについて」を発表された西田典充先生(ニデック株式会社)が受賞されました。この場を借りて改めてお祝い申し上げますとともに、今後のますますのご活躍を祈念いたします。

本学会では4年ぶりに懇親会の開催を計画しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の動向がなお不確定であったことから、産業衛生関係者への感染を防止することを優先して、残念ながら開催を見合わせました。今後の学会では懇親会も開催され、参加者同士での懇親が一層深められることを期待しています。

最後になりましたが、本学会にご参加、ご講演いただきました皆さま、多大なご支援、ご協力をいただきました実行委員会委員、学会幹事をはじめとする関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。

第63回近畿産業衛生学会

メインテーマ **ポストコロナ時代の産業保健**

会期: 2023年 11月11日(土)

会場: 兵庫医科大学(西宮キャンパス)教育研究棟
 学会長: 島 正之
(兵庫医科大学医学部公衆衛生学 主任教授)

プログラム

- 1) 一般演題(口演) 9:30~10:50
- 2) 教育講演 11:00~12:00
 「職場のパワハラと防止策について」
 演者: 津野 香奈美(神奈川県立保健福祉大学 准教授)
日本医師会認定産業医単位 生涯研修(専門):1単位
 産業保健看護専門家制度研修単位:1単位
- 3) 基調講演 14:00~15:00
 「産業保健現場のコロナと『次』の課題～メンタルヘルスを含めて」
 演者: 勝田 吉彰(関西福祉大学社会福祉学部 教授)
日本医師会認定産業医単位 生涯研修(専門):1単位
 産業保健看護専門家制度研修単位:1単位
- 4) シンポジウム 15:10~17:10
 「ポストコロナ時代の働き方改革とメンタルヘルス」
日本医師会認定産業医単位 生涯研修(専門):2単位
 産業保健看護専門家制度研修単位:2単位

演題申込締切 **2023年9月1日(金)**
 ホームページ <https://jsoh-kinki.jp/jsohkinki-63/>

学会事務局
 兵庫医科大学医学部公衆衛生学講座
 〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1-1
 TEL: 0798-45-6566
 E-Mail: kinki63@hyo-med.ac.jp

第 63 回近畿産業衛生学会の報告**第 63 回近畿産業衛生学会優秀演題賞を受賞して**

滋賀医大・医・精神医学

角谷 寛



この度は榮譽のある賞をいただき、誠にありがとうございました。選考委員や産業歯科保健部会の先生方をはじめ、関係の皆様にご心より感謝いたします。

本演題では滋賀県甲賀市の市職員を対象とした睡眠とメンタルヘルスのコホート研究（NinJaSleep 研究）の調査結果のうち、睡眠呼吸障害（睡眠時無呼吸やいびき）についてご報告させていただきました。

睡眠呼吸障害は重症になるほど、睡眠効率や深いノンレム睡眠の割合で示される客観的な睡眠の質は悪くなりますが、不眠感や眠気などの自覚症状は変化が乏しいことが明らかとなりました。自覚的な不眠感や眠気によりスクリーニングすることは困難であるため、産業分野において睡眠時無呼吸の検査・治療を行うことは、従業員の睡眠の質を向上し、健康経営にも寄与できる可能性があると考えられます。

今回の受賞を励みに、今後も主観的データに加えて客観的データを活用することで、科学的根拠に基づいた産業保健活動に貢献できるよう取り組んでまいります。

第 63 回近畿産業衛生学会の報告**第 63 回近畿産業衛生学会若手奨励賞を受賞して**

(株) カプコン 専属産業医

西田 典充



この度は若手奨励賞を賜り、誠に光栄に存じます。労働死亡災害データは公開されていますが、年度毎に分かれているため、年度を縦断して集計や検索を行うには適していません。今回、平成3年から令和4年度までのデータをダウンロードして、年度を縦断して整合性が取れるように加工し、単一ファイルへと結合するプログラムを作成して公開いたしました（<https://github.com/ironwest/sibou-saigai>）。単一ファイルにすることで、発表で提示するようなダッシュボードアプリケーション（<https://factory-health.shinyapps.io/sibou-saigai/>）を作成することができるようになります。

この発表が死亡災害データについての調査、研究、または実務でのご利用にお役立ちできれば幸いです。今後も労働安全衛生に関連する調査報告を続けてまいります。また、関西における産業保健の発展に寄与していければと考えており、会員の皆様方のご指導とご鞭撻を引き続き賜りますようお願い申し上げます。

第 63 回近畿産業衛生学会の報告**第 63 回近畿産業衛生学会に参加して**

(株) トトロエココンサルティング

松井 正義



第 63 回近畿産業衛生学会が 2023 年 11 月 11 日に兵庫医科大学医学部公衆衛生学教授の島正之学会長の下、同大学西宮キャンパスで開催されました。橋の上にある不思議な阪神電鉄武庫川駅から徒歩 5 分の利便性の高い会場で対面形式での開催でした。

今回参加して印象に残った 2 点をご紹介します。

1 点目は、「ポストコロナ時代の産業保健」をメインテーマとした興味深い講演が多数あったことです。これらから私が得た学びをいくつか紹介します。①組織風土とパワハラには相関があり、心理的安全性より心理社会的な安全風土が日本の社会には適している（教育講演から）、②強迫症の文脈ではコロナ禍に一般公衆よりも手指の適切消毒方法を知っているヘルスケア従事者の方が不適切行動になりにくかった（シンポジウム 1 から）、③ポストベンション活動の実態を初めて知ったこと（シンポジウム 4 から）、④長時間作業における頭部前方位姿勢とストレスとの関連（シンポジウム 5 から）。これらの学びをヒントに働く人の健康を守る活動に貢献していきたいとの思いを新たにしました。

2 点目は、最も印象に残った講演の紹介です。それは一般講演番号 104 「死亡災害オープンデータのデータクレンジングと利活用への試みについて」です。厚生労働省が毎年公表する死亡災害情報は、有益ながらもその後の利活用が少々不便だと常日頃感じていました。演者の試みはその点を見事に解消し、誰もが利活用できる点にあります。これは多くの労働安全衛生従事者が認めるどころであり、演者は見事に若手奨励賞を受賞されました。今後、休業 4 日以上災害データにも同様の試みを予定しているという嬉しいお知らせもありました。

最後になりますが、帰途の川の上の駅では冷たい風を受けて立冬の訪れを肌で感じましたが、印象深い講演の数々と、コロナ禍から我々が学んだことを次に繋ぐ必要性を認識できた良い学会に参加できた喜びで心はボカボカでした。

第 63 回近畿産業衛生学会の報告**第 63 回近畿産業衛生学会に参加して**

石原歯科医院

石原 宗和



2023年11月11日(土)、兵庫医科大学西宮キャンパスにて開催された、第63回近畿産業衛生学会に参加致しましたのでご報告させていただきます。

新型コロナウイルス感染症の感染症法による分類が5類となり半年が経過したところでの開催となった今回の学会は「ポストコロナ時代の産業保健」をメインテーマに、教育講演、基調講演、シンポジウム、そして一般演題(口演)と盛りだくさんの内容で開催されました。その中で、1日を通して多く聞かれたのは「ハラスメント」「メンタルヘルス」「ストレス」というワードでした。

神奈川県立保健福祉大学の津野香奈美先生の教育講演ではパワーハラスメントがどのような職場で発生しやすいか、また未然発生防止のためには何をすればいいのかについて科学的根拠をもとにお話がありました。

また関西福祉大学の勝田吉彰先生の基調講演では、産業保健の現場で日常注意しなければならない様々な感染症に関するお話の後、今回の新型コロナウイルス感染症において問題となった感染者差別、リモートワークに伴うストレスについて、メンタルヘルスの観点から解説されました。

最後のシンポジウムでは5名のシンポジストが「ポストコロナ時代の働き方改革とメンタルヘルス」をテーマにそれぞれの立場から、新型コロナウイルス感染症が産業保健の現場にどれだけ大きな影響を及ぼしたか、それに対してどのような対策を講じていかなければいけないか、それぞれの立場で何ができるのか、ということに関してお話しされた後、フロアーとも活発な質疑応答がなされ、大いに盛り上がりました。

今回の学会に参加させていただき改めて新型コロナウイルス感染症の産業保健現場に与えた影響、また産業保健に関わる人間として何をしていかなければいけないか、さらには各職種や組織の壁を超えて多職種で活動していくことの重要性を再認識することができ、大変有意義でした。

関係者の皆さまに感謝申し上げます。

第 33 回日本産業衛生学会全国協議会の報告**第 33 回日本産業衛生学会全国協議会に参加して**パナソニックインダストリー
西門真健康管理室

清田 玲郁奈



2023年10月27日よりYCC 県民文化ホール、山梨県立図書館にて開催されました、第33回日本産業衛生学会全国協議会に参加致しましたのでご報告させていただきます。

今回の学会のメインテーマは「多様化する社会と産業保健」であり、まさに昨今の社会情勢が踏まえられた内容に感じました。実際に私が拝聴致しました講演の数々では多様性に対する各企業の解釈や取り組み、また先達の産業保健職の方々のご意見に触れることが出来たものが多く、大変興味深い内容でした。

私自身、産業保健活動の中においても、多様性を意識する必要性を感じておりましたが、中々事例において学ぶ機会は少なく、頭を悩ませておりました。今回の学術大会に参加し、多くの事例を踏まえたご意見を伺えたことで、自身の理解をより一層深められたように感じております。

また、開催地でもある山梨県の、長崎幸太郎知事の御講演では、県庁と医療機関・民間企業との連携を円滑に行えるような施策をとることで、県が一丸となって県民の幸福度を増進し、最終的には地域全体の活性化を目指す、という山梨県の理念についてお話しされておりました。知事の御講演を拝聴し、私自身も従業員の方々の健康をサポートすることによって、企業を通じて地域の活性化に貢献していきたい、と認識を改めるきっかけとなりました。とても有意義な御講演であったと感じております。

私が産業医となってから学会へ現地参加させていただいたのは今回が初めてであり、新しい知見への期待と熱い思いを抱きながら山梨へ向かいましたが、様々な視点での考え方や皆様の熱意に触れることが出来、今後の自身の産業保健活動へ多くの刺激を頂く結果となりました。今後もこの気持ちを忘れずに自らの職務と向き合い、研鑽を重ね、精進して参りたいと思います。この度は貴重な機会を頂き、本当にありがとうございました。

最後になりましたが、この場をお借りして今回の協議会開催に参画して下さった関係者の皆様にご挨拶申し上げます。

第33回日本産業衛生学会全国協議会の報告

第33回日本産業衛生学会全国協議会を拝聴して

(株)クボタ本社・健康経営推進部
福岡 美恵子



2023年10月27日～29日迄、YCC 県民文化ホール、山梨県立図書館で開催された第33回日本産業衛生学会全国協議会を拝聴しましたのでご報告致します。

今回は「多様化する社会と産業保健」をテーマにハイブリッド形式で開催され、私はオンデマンド配信で聴講致しました。

講演内容は、ポストコロナ時代のメンタルヘルス対策、多様な人材や多様な働き方に対する産業保健活動のあり方、化学物質の自律的管理への対応、データやAIを活用した産業保健サービスの提供など多岐にわたるものでした。各専門家である先生方から多くの知見や研究結果、具体的な事例も交えたお話を聴くことができたことは広範囲な学びの場となり、大変有意義でした。

特に印象に残っているのは、メインシンポジウム「社会の多様性に対応する産業保健」(森見爾先生)の講演です。企業など組織で展開される産業保健サービスは、社会の変化に大きな影響を受けるため、産業保健専門職は、常に、サービス対象となる社会、組織、人に対する深い理解が重要であると述べられていました。また、これからの産業保健サービスは、「法令順守」を目的に行うだけでなく多様化を伴う社会の変革スピードへ対応するため多職種連携による組織化した取り組みが不可欠であると述べられていたことです。

IoT、AIによる技術革新など社会が急速に変化している今般、産業保健サービス自体も個人・集団・組織の多面的な要素を捉えスピード感をもって対応していくことが求められています。スピード感をもって対応するには、事業場内外のネットワークの構築や集団分析を活用した課題の抽出、個別の課題と組織の課題を連動させる広い視点を持つことが大事であると痛感しました。

まずは日常業務の中でコミュニケーション力を高め、従業員一人一人への丁寧な個別支援や職場診断やデータ分析結果に基づいた職場支援を行いながら、会社全体の健康度、生産性の向上につながる産業保健活動に努めていきたいと思えます。

今回の大会開催にご尽力いただきました関係者の皆様に感謝申し上げます。

近畿産業保健看護部会研修会報告

2023年度近畿産業保健看護部会定例研修会に参加して

(株)クボタ・健康経営推進部
奥村 恵



大野 裕先生から「セルフケアのための認知行動療法～職場における支援のあり方～」についてご講演頂きました。認知行動療法はうつ病の治療法として始まり、現在は、労働者のこころの健康保持増進として認知行動変容アプローチによる支援が行われています。支援方法の一つとして、「こころを元気にする4つのステップ：①変化に気づく②ひと息つく③考えを整理する④期待する現実に近づく」をご説明頂きました。4つのステップの内容は、①自分の体調や気分の変化に早めに気づく、②気づいた時点で立ち止まり、自分の感情や感覚に注意を向ける、③自分の考え・事実関係を整理する(そうすることで前向きな考えや新しい気づきにつながる)、④やる気スイッチを入れて、楽しい行動ややりがいのある行動を増やすことで、達成感につながるということです。各ステップについて、具体例を挙げてご説明頂き、またロールプレイの実施もありましたので、対象者への支援方法をより具体的にイメージすることができました。

また、先生の講演の中で、「セルフケアは一人ではできない」という言葉がとても印象に残りました。1人でセルフケアをしようとするとう行き詰ってしまうため、誰かとつながっていることが大切であり、産業保健職として、「みんなでセルフケア」を行う機会の提供、職場環境づくり支援を行う必要性を感じました。

五十嵐千代先生から「多様化し急速に変化する労働現場に、産業保健看護職はどう対応するのか」についてご講演頂きました。新しい時代に産業保健に求められることとして、「リモートワークに対するICTを使った産業保健サービス」「労働生産性に加え、Well-beingという考え方」「多様性を取り入れ個への労働環境への対応」「産業保健サービスにおけるDX化・AIの活用」等をご説明頂きました。日々変化する労働現場の情報をキャッチし、すべての労働者にきめ細やかな支援ができるように、時代に沿った対応を行う必要性を改めて感じました。

若手活性化プロジェクト

「第2回わかりやすい統計講座」活動報告

若手活性化プロジェクト幹事・実行委員一同

2026年に日本産業衛生学会が大阪で開催されます。若手活性化プロジェクトでは、皆さんがその学会での発表をできるようにサポートすることを目標にあげ、3回シリーズの第一段として2024年1月20日（土）に疫学と統計の勉強会を開催いたしました。講師は疫学では日本一著名な大阪公立大学大学院医学研究科産業医学教授（日本産業衛生学会近畿地方会会長）林朝茂先生にお願いし、「発表しよう。まずは研究のレシピ（手順）を知ろう！～アンケート作成とデータ収集のポイントも含めて～」と題して、ZOOMにて、ご講義いただきました。

医学研究のレシピの集め方から疫学研究の基礎知識、英語論文の重要性やその読み方、統計処理に関する内容まで、疫学研究の入門者から実際に研究されているエキスパートの研究者まで多くの学びを得られる非常に深く内容の濃い勉強会でした。

実際の英語論文の読み方のポイントとして、論文のどこを見ればよいのか、図や表の見方を実例を挙げて解説していただきました。さらに、次年度から変更となる特定健診の問診票を疫学研究に利用する場合の問題点なども解説いただきました。我々は疫学研究を始める前にもこのようなことを明らかにしたいのか、そのためにはどのような解析方法や研究方法があるか等、研究するためには最低限必要な、統計学の知識を得た上で問診票なども作ることが大変重要であると教えていただきました。

また、疫学指標のパートでは累積罹患率よりも罹患率

...

の方が優れた指標であることや、有病率との違い、確率とオッズの関係やオッズ比についてなど、我々が曖昧に理解していたことをより明確にお教えいただき、さらにはコホート研究における“ProspectiveとHistorical”や“OpenとClosed”の違いなどを、図を用いてわかりやすく解説していただきました。最後は、これから勉強を始める方のためにと、お勧めの書籍等を紹介くださり、疫学研究や学会発表を目指そうという若手研究者にとって、非常に役立つご講演でした。

今回の勉強会には114名の申し込みがあり、当日は96名の方に最後までご参加いただきました。また、54名の方よりアンケートにご回答いただき、92%の方が「とてもわかりやすかった、わかりやすかった」と回答され、すべての回答者が「有益だった」、「また参加したい」と回答を得ました。ご参加いただきありがとうございます。今回のイベントが皆様の産業保健活動の一助になれば幸いです。

最後に、本当にお忙しい中、非常に多くのスライドをご準備いただきました林教授、並びに教室の先生方に厚く御礼申し上げます。

若手活性化プロジェクトでは2024年度も疫学の実践等イベントを秋頃に開催予定です。お時間がございましたら、ぜひ来年度もご参加ください。

(文責：奥田恵司)

選挙管理委員会からのお知らせ

1) 本年度は近畿地方会役員（次期地方会長、次期監事、次期代議員）選挙および理事候補者選挙の年です。

選挙細則については近畿地方会ホームページ <https://jsoh-kinki.jp/> をご確認ください。細則のほか、選挙公告や選挙管理委員会からのお知らせなど、選挙関連の記事を掲載します。選挙にあたりまして、下記の点にご留意ください。

① 7月31日までに会費を全納してください。

未納の場合、選挙人・被選挙人として名簿に登録されませんのでご注意ください。

② 日本産業衛生学会ホームページより、ご自身のメールアドレス、勤務先、自宅住所などの変更があれば必ず更新してください。

日本産業衛生学会ホームページ <https://www.sanei.or.jp/> ⇒ 【会員ログイン】 ⇒ 【マイページ】 ⇒ 【プロフィール変更】

③ 次期地方会長、監事の自薦他薦を募集します。

近畿地方会ホームページより次期地方会長および監事の立候補・推薦の届け出用紙をダウンロードし、必要事項を記載したうえ、8月8日までにメールにて送付ください。

2) 次期代議員は2022年2月10日に改正された近畿地方会選挙細則に基づき、8月15日頃に中央選挙管理委員会から届く名簿に記載された方全員を、選挙管理委員長が被選挙人として推薦し、選挙は日本産業衛生学会のホームページから9月に実施します。詳細な選挙案内は9月中旬（予定）までに発送します。

3) 代議員選挙人、被選挙人に関する条件

選挙人：2023年度より引き続き正会員であり、かつ2024年7月31日までに会費を全納した正会員

被選挙人：2023年度より引き続き正会員であり、かつ2024年7月31日までに会費を全納し、10月31日時点で69歳以下の正会員

上記条件を満たさない場合、被選挙人として名簿登録されません。

第 64 回近畿産業衛生学会のお知らせ

第 64 回近畿産業衛生学会長
(東レ株式会社滋賀事業場健康管理センター)



中西 一郎

今年は元旦の能登地震や羽田空港地上衝突事故、台湾の地震など災害が多発しました。実際に何らかのかかわりを持たれた方もいるかもしれません。災害はいつ何時起こるかわかりません。今回は「災害に立ち向かう産業保健～私たちができること～」をテーマに開催します。皆様の関係先での平時からの備えに役立てていただきたいと思っております。

なお、運営方法を見直しました。これまでの各県持ち回りで学会長の所属組織を中心に運営していくことがだんだん厳しくなってきました。今回から地方会としての実行委員と幹事を中心に運営していくことにいたしました。

また今回は久しぶりに懇親会を開催予定です。多数のご参加をお待ちしております。

一般演題登録申し込み締め切り 6月30日

詳細は第 64 回近畿産業衛生学会サイト（近畿地方会サイトからリンク）をご覧ください。

開催概要

- 日時：8月31日（土）9：30 代議員会、10：00 から一般演題
- 会場：ドーンセンター（大阪府立男女共同参画・青少年センター）
- テーマ：災害に立ち向かう産業保健～私たちができること～
- スケジュール（時刻は予定です）
9：30 代議員会（代議員の皆様、ご参集ください）
10：25 開会挨拶

10：30 一般演題

12：45 表彰式

14：00 教育講演

「震災後に起こりえる石綿ばくろによる中皮腫～石綿の基本的知識から」

環境再生保全機構石綿健康被害救済部顧問医師
森永 謙二 先生

15：00 基調講演

「災害時における健康管理システムの実装～令和6年能登半島地震の経験をもとに～」

産業医科大学産業生態科学研究所災害産業保健センター教授

立石 清一郎 先生

16：10 シンポジウム（出演順は未定）

「災害時の歯科保健－阪神・淡路大震災から能登地震までの29年」

医療法人社団関田会 ときわ病院 歯科口腔外科
神戸市健康局歯科専門役

足立 了平 先生

「災害対応に従事する従業員への健康支援」

北陸電力株式会社福井支店総務部健康推進室
白崎 慶子 先生

「惨事ストレス事案の心理職の対応例」

法政大学キャリアデザイン学部教授
廣川 進 先生

18：10 閉会挨拶

懇親会

5. 学会長

東レ株式会社滋賀事業場健康管理センター

中西 一郎

6. 事務局

大阪公立大学大学院医学研究科 都市医学講座 産業医学

佐藤 恭子

Email：kinki64@jsoh-kinki.jp

編集後記

今年元旦に発生した能登半島地震により被災された方、そのご家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。被災地の一日も早い復旧・復興が進んでいくことをお祈りいたします。

さて、昨年より第14次労働災害防止計画がスタートし、早や1年が過ぎました。この間、昨年は30年ぶりの騒音障害防止のためのガイドラインの改訂、今年4月からは化学物質管理体制の見直し強化され、皮膚等障害化学物質等への不浸透性の保護具使用の義務化や保護具着用管理責任者の選任義務化、さらに、運送・建設・医師等に導入された時間外労働の上限規制が始まりました。この他にも、行

政から順次、新しい規定が示されています。第14次労働災害防止計画の取り組み事項に加え、そのスピードが速いため情報収集に戸惑っている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。地方会ニュースでは紙面をフルに活用して、産業衛生に関するより多くの情報を多方面から発信していきたいと思っております。

（相羽 洋子）

編集委員（50音順）

相羽 洋子 石原 宗和 井上 幸紀（担当理事）

清原 達也（当番編集長） 谷池 正行 村田 理絵